

フンタ サマリー

●ゲームの流れ

1) 政治カードを引く

各プレイヤー 2 枚カードを引く
手札の上限は場に置かれた影響カードも含めて 6 枚まで
亡命中は引けない

クーデターの口実をリセットして「口実なし」にする
銀行の営業をリセットして「銀行営業中」にする

ゲームボード上のマーカーを元に戻す

各旅団	各旅団兵舎	各 3 個
海兵隊	港	1 個
砲艦	港	1 個
航空攻撃隊	空港	3 個
空挺部隊	空港	1 個
警察	各警察署	各 1 個
官邸護衛隊	大統領官邸	4 個

2) 閣僚ポストの配分

大統領は、地位カードを分配する
大統領は他の地位の兼任不可
地位カードの配分は 1 人につき最低限 1 枚・上限 2 枚
将軍の地位カードは 1 人につき 1 枚まで
※閣僚ポストを変えることができるのはこのフェイズのみ。

3) 外国援助金の受領

マネーカードを 8 枚引く
マネーカード内訳：100 万ベソ× 32、200 万ベソ× 32、300 万ベソ× 32

4) 予算審議会

大統領：誰にいくらの予算を与えるか宣言する
大統領の左隣のプレイヤーから時計回りに 2 周投票にかける
審議が通った→
大統領は予算案で提示した金額以上のマネーカードを渡す
審議が通らなかった→
クーデターの口実は「口実あり」に

内務大臣は強行採決ができる→

警察マーカーをすべて下院に移動
予算案が通ったのと同様にマネーカードを渡す
銀行は「昼休み」になる

否決のまま

予算は大統領がすべて受け取る
銀行は「祝日休業」になる

5) 所在の決定

プレイヤーはそれぞれ潜伏先を決める
銀行：スイス銀行口座にお金を預けたり降ろしたりできる
HQ：「クーデターの口実なし」でもクーデターを起こせる
亡命：大使館にカードを置くことで亡命できる

6) 暗殺

内務大臣から時計回りに暗殺を実行
・内務大臣の能力以外は暗殺カードを使用
・「誰」と「何処に」の宣言を行う
所在を当てていたら暗殺成功
銀行で暗殺をした場合は「銀行で暗殺」になる
暗殺が起きたらクーデターの口実は「口実あり」になる
殺した相手の所持金をすべて受け取る

7) 銀行

銀行を所在地に選んでいるとき：
銀行が営業中→銀行を利用できる
銀行が祝日休業→何もできない
銀行が昼休み→クーデター終了時に銀行業務再開 / クーデターが起きなければその時点で営業再開

8) クーデター

以下のときにクーデターが起こせる
クーデターの口実がある
HQ にいるプレイヤー
カードの使用 (以下)

大統領の左隣から、いずれかを行うことでクーデターが開始される

- ・ゲームボードに新たなカウンターを配置するカードを使用
学生運動隊◆
暴徒◆
ストライキ労働者◆
デモ隊◆
銀行警備隊
キリスト教民兵
祖国防衛隊
ヘリコプター
自分の部隊を移動
空爆・砲撃
(上の◆付のものが使われたときに警察を対応移動できる)
- ・最初のクーデターラウンドで移動
クーデターを開始しない大統領側は最初の戦闘ラウンドに移動できない
- ・大統領官邸を砲撃

9) クーデターの余波

クーデターが起きていた場合

大統領側が勝利
反逆者を 1 人処刑：所持金を大統領に渡す

反逆者側が勝利
新大統領選出
投票はクーデター終了時の忠誠者のみ
票は影響カード、投票カードの票数を除く
同点は首謀反逆者が決める
新大統領は亡命していないプレイヤーを 1 人処刑：所持金を新大統領に渡す

銀行：昼休み終了 (銀行業務を利用可能)
死亡していたプレイヤーは、その親戚が次のターンから現れる (ゲーム復帰)

ゲームの終了

マネーカードを引けなくなった時、スイス銀行口座にあるお金が一番多いプレイヤーの勝利
(96 枚なので、全部で配分は 12 回あることになる)

● 亡命

大統領が亡命するためにはまず辞任をし、新大統領選挙を行って**2) 閣僚ポストの配分**を行わなくてはならない
他のプレイヤーは所在の表明の際に大使館に移動したりすることで亡命可能
亡命中はカードを引けない
亡命中は投票ができない
亡命中は自分のコントロールする部隊の指揮はできない

亡命からはいつでも帰還できる
内務大臣は無条件で帰還したプレイヤーを暗殺できる
内務大臣がいない場合、安全に帰還できる
大統領が暗殺された際の選挙の前、安全に帰還できる
クーデター中に自分の亡命先の国の大使館に部隊を持っているプレイヤーが亡命を許可したら、安全に帰還できる

● クーデター

クーデターが始まったら、いったんゲームは中断され、クーデターゲームを始める。
反逆者は国の重要施設 5 箇所のうち 3 箇所を押さえようとする。大統領側は反逆者の勝利を防ぐ。

最初の戦闘フェイズに移動 / 砲撃・空爆を行った場合
反逆者
クーデター中に大統領官邸護衛隊に攻撃を行ったら
反逆者 (大統領以外が指揮していても)
移動を行わなかったもの
大統領側

最初に反逆者となったプレイヤーが首謀反逆者となる
反撃を行っても反逆者になる

戦闘フェイズは以下の手順をで構成 (6 回行う)
移動
首謀反逆者から時計回り順に 1 エリアの部隊指定して動かす
全員が移動を終えたら戦闘の解決をする

戦闘
特殊攻撃 (空爆・砲撃) を行う
・ 1 戦闘フェイズに砲撃は 1 回
戦闘を 3 回行う (以下を 3 回行う)
・ エリアごとに解決
・ 攻撃は同時に行う
・ 攻撃はプレイヤーを一人指定して行う
・ 官邸護衛隊は大統領官邸では 1 戦力につきダイス 2 個
損害が多かった側はその地域から退却する
できない場合→全滅

大使館では戦闘禁止

部隊の貸し借りを行うことができる

● 大統領の従兄弟

誰かが暗殺された / 亡命した場合、そのポストを大統領 (の従兄弟) のものとする
大統領の従兄弟は地位を 1 つしか占めない
次のターンの **2) 閣僚ポストの配分**まで存在する

● 銀行

営業中：銀行業務を利用できる
祝日休業：このターン銀行業務を利用できない
昼休み： **9) クーデターの余波**の最後に銀行業務を利用できる

銀行で暗殺：内務大臣は「銀行で暗殺」がある場合、秘密警察による暗殺ができない
「銀行で暗殺」が置かれているときに、銀行で暗殺が起きなかった場合、「銀行は安全」に取り替える。
※ルールブックに具体的に書いていないのですが、このルールは連続での暗殺を防ぐものですのでこれが妥当でしょう。

最初の戦闘フェイズ +6 フェイズを終えたらプレイヤーはそれぞれ最終的な派閥を決める
・ 首謀反逆者から時計回りに表明
・ 選ぶのは「親大統領派」もしくは「親臨時政府派」
・ 大統領は「親臨時政府派」になれない
・ 「反逆者」でも「親大統領派」になれる
・ 「忠誠者派」でも「親臨時政府派」になれる

全員が表明を終えたとき、主要施設 3 箇所を占拠していた陣営が勝利する
部隊カウンターが無い場合
—— 親大統領派占領とみなす
部隊カウンターが 1 個でもある
—— 親大統領派占領とみなす
親臨時政府派の部隊カウンターしかない
—— 親臨時政府派占領とみなす

クーデターの余波に関して

クーデター終了後の勢力は以下ようになる
・ 大統領：A
・ 忠誠者かつ親大統領派：B
・ 忠誠者かつ親臨時政府派：C
・ 反逆者かつ親大統領派：D
・ 反逆者かつ親臨時政府派：E

大統領が勝利
亡命中で無い D・E を 1 人処刑 (大統領が決定)

反逆者が勝利
臨時政府選挙を D・E の間で行う
C は臨時政府メンバーではない
新大統領は亡命中ではない A・B・C・D・E を 1 人処刑